



吉田地区 住民自治協議会だより

58号

キャッチフレーズ 「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

発行責任者 水内 和義 編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会
事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテながの2階 TEL 026-263-6224 FAX 026-266-0371



令和7年度

吉田地区成人式

令和8年1月11日

本日私は私たちのためにこのような式典を開いていただき、また心温まるお祝いのお言葉をいただき、誠にありがとうございます。

私たちが本日、無事に成人式を迎えることができたのも、育ててくれた両親やご指導いただいた先生方、支えてくださった地域の皆様、そしてかけがえのない友人のおかげであることに、深く感謝申し上げます。

これからの長い人生、時に壁にぶつかることもあると思います。そのような時でも、支えてくださった皆様への感謝の気持ちを忘れず、ふるさとで過ごした思い出を胸に、仲間と共に歩んでいきます。

そして、一人の大人としての自覚と責任をもち、社会に貢献できる人間になることを誓います。

今後とも、私たち新成人を温かく見守ってくださいませう、お願い申し上げます。簡単ではございますが、これをもちまして新成人代表の挨拶とさせていただきます。

令和七年度 新成人代表 高橋 那海

本日は、盛大な成人式を開催していただき新成人一同厚く御礼申し上げます。

二十歳という節目を迎え、改めて社会の一員としての自覚を持ち、自らの人生を力強く歩んでいくことをここに誓います。

世界は人工知能の台頭により大きな転換期を迎え、昨日までの常識が明日には覆るかもしれない時代になりました。もはや、諸先輩方の背中を追うだけでは通用しないのかもしれない。私たちは自らの頭で考え、正解のない問いに向き合い、新しい道を切り拓いていかなければならないのです。

「傷あとを隠してはいけません。その傷が、君を君らしくしているんだ」アメリカの歌手、フランク・シナトラの言葉です。失敗をし、挫折を味わうこともあるかもしれませんが、失墜や挫折による傷は、決して恥ずべきものではありません。私たちが必死に生きていく証であり、個性を形作る大切な自分な部分なのです。

新成人の皆さん、同じ吉田地区に生まれ、同じ時代を共に悩み、共に歩んでいく多くの仲間がいます。恐れることはありません。傷を誇りに変え、自分らしい人生を歩んでいきましょう。

簡単ではありますが、新成人誓いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

令和七年度 新成人代表 徳間 信太郎



成人式出席者 124名

環境美化委員会は総務委員会（区長会）と合同で、本年4月からはじまる家庭ごみの分別方法の変更についての研修会を行いました。市の生活環境課から主要な変更点について実物例を示して説明していただき理解を深めました。

具体的には、1. プラスチック製品の分別方法を合わせて「資源プラスチック」として収集を開始する。資源プラスチックの対象ならないプラスチック100%は可燃ごみになる。資源プラスチックとして出せるものと出せないものの違い。2. 新たに「モバイルバッテリー・充電式小型家電」の収集を開始する。電池の収集日に出せるもの出せないものの違い等々になります。市では新しい分別の仕方を周知するために「長野市家庭用資源物・ごみ収集カレンダー」やその他様々な広報を行います。

今後、ごみ出しのマナー違反やルールを守らないごみなど思いがけないさまざまな問題が発生するかと予想されます。ごみをめぐるトラブルについては、各町の環境美化役員へお気軽にご相談ください。

（環境美化委員会 委員長）



環境美化委員会

研修
「令和8年4月開始 資源プラスチック等の分別収集」について

令和7年11月20日

公民館委員会

第39回

吉田町文化祭



11月9日(日)、ノルテナがのにて第39回吉田町文化祭を開催しました。

今年度は、舞台部門に昨年を上回る24組の出演者、展示部門に16組の出展者と、多くの方々に参加をいただきました。このほか、舞台部門では東部中学校吹奏楽部の演奏、展示部門では長野空襲を語り継ぐ会による記録や資料の展示も行なっていました。併せて、俳句の優秀作品入選者27名の表彰、全俳句作品の展示も行いました。

舞台部門は観客席がほぼ満席に近い状態が最後まで続き、展示部門には多くの皆さんが作品を観に訪れ、盛況な文化祭となりました。また、来年度の第40回記念大会を見据え、新しい企画として、食品販売と休憩スペースを設置した「文化祭マルシェ」も盛況でした。参加いただいたすべての皆さんに感謝いたします。

前日準備から当日の運営、片付けを担当した長野市立吉田公民館長と公民館委員会の主事さん達は、それぞれの役割をしっかりと果たしていただき、問題なく運営できました。

これからも、吉田の皆さんの文化活動の発表の場として、永く続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

(公民館委員会 委員長)



今回は、落語家の桂九寿玉さんによる古典落語会が行われ、子ども達にもわかりやすく、そして大人も楽しめる演目が披露されました。演目は「金明竹」、「牛ほめ」、「動物園」です。桂さんの軽妙な語り口と、登場人物の表情を巧みに演じ分ける技術に、会場は終始引き込まれていました。途中、紙切りも披露していただき、完成した瞬間、大いに盛り上がりました。世代を超えて、日本の伝統芸能に触れる時間となりました。(育成会委員会)



11月9日(日)、吉田小学校体育館にて「よしだこどもオータムフェスタ2025」が開催され、子ども、保護者を中心にして約70名の方が参加しました。

育成会委員会

よしだこどもオータムフェスタ



福祉委員会

福祉・健康フェスタ

2025



テーマ「つながろう人と吉田と私たち」が11月29日(土)に吉田公民館多目的ホール、ホワイエ、吉田支所2階ホールにて賑やかに開催されました。

多目的ホールでは、みんなでラジオ体操、吉田小学校合唱クラブ64人の皆さんによる希望あふれる歌声を聞かせていただきました。また、日頃から吉田地区の福祉活動を支えていただいている長野市社会福祉協議会と地域包括支援センター吉田の活動を紹介、お困り事や相談があったら気軽に連絡してほしいと説明がありました。最後は広町太鼓の皆さんによる荘厳な太鼓演奏で会場を盛り上げていただきました。

ホワイエでは、長野医療生活協同組合吉田北支部の無料健康チェックが行われ、健康でいる生活が一番の関心事であることが証明されました。

物品販売では、東部中学校イーストカンパニー(製作品)、ポポラス(パン・焼菓子)、八雲日和(うどん・おやき)、そば工房きずな(そば・麺類)と大盛況でした。

また、地域包括支援センター吉田の活動展示、ダスキンヘルスレント長野ステーションの福祉用具の展示・体験・相談、吉田地区ポッチャ愛好会と西堀ポッチャクラブによる体験会が行われ、子供から高齢者・障がいのある方までが楽しめるスポーツなので、たくさんの方に体験して広めていきたいとおっしゃっていました。

この福祉・健康フェスタ2025を通して、吉田地区の福祉事業がひとりひとり地域と共につながり、住み良い吉田町にとの思いで、福祉・健康フェスタが無事大成功で終えることができました。福祉委員会の皆様、ご協力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。(福祉委員会)



健康委員会

第8回

健康づくり講座

1/14

😊 ボールを使って健康体操 😊



編集後記

「吉田地区住民自治協議会だより」第五十八号をお届けします。

今号は一二四名の参加者で賑わった、二十才をお祝いする「吉田地区成人式」の模様を中心に掲載しました。

毎年行われる福祉・健康フェスタでは、吉田小学校合唱クラブの皆さんの歌声が素晴らしく「心に響く歌声」との感想が聞かれました。

また、広町太鼓にもその迫力に感動したとの声が多く寄せられました。

令和七年度事業も計画通りに実施され、残り僅かとなりました。ひとえに吉田町の皆様方のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

(編集委員会一同)